

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330321065	保育内容（表現）造形の指導法 I Childcare Contents (Expression B)	古田 年寿			1	選択	1後期
科目の概要							
本授業は、幼稚園教諭・保育士としての造形表現領域の演習による知識・技能の獲得を目指す（DP②）。また、それらを主体的・創造的に活用することができるようにするために、「平面」と「立体」における基礎的造形力を養い、その面白さや魅力を理解することを目的に演習を中心とした授業を行う（DP③）。これらの授業を通して、四大精神にもとづくバランスの取れた諸能力と一般的知識・技能を基盤としながら（DP①、⑤）、実践力を養うことを目指す。							
学修内容				到達目標			
① 描画および工作の様々な技法について体験修得する ② 色彩についての知識を学び、彩色を施すことによって体得する ③ 計画的に制作する手順を修得する ④ 描画材料や工作に必要な道具の特性を修得する ⑤ 乳幼児の造形表現の特質や発達段階について学修する				① 描画および工作の様々な知識や技法を獲得し、それを応用させて活用することができる ② 色彩についての様々な知識や技法を獲得し、それを応用させて活用することができる ③ 計画的に制作を進め、自身の課題を抽出して解決することができる ④ 描画材料や工作に必要な道具の特性を理解し、適切に使うことができる ⑤ 乳幼児の造形表現の特質や発達段階について理解を深めることができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	課題の意図を理解し、丁寧かつ積極的に制作をすることができる。 最後まで諦めず作品を完成させることができる。 制作した作品に愛着を持ち、大切に管理することができる。					
	働きかけ力						
	実行力	制作説明において、重要なことをメモに残すことができる。					
考え抜く力	課題発見力	制作手順においてわからないことを自己判断で遂行せず、質問をすることができる。					
	計画力	表現するコンセプトを明確にし、作品のイメージをしっかりと持った上で材料や用具の準備ができる。					
	創造力	クラスメイトの作品や参考作品を参照して、オリジナルの工夫をすることができる。 修得した知識や技能をどのように保育に活かすことができるかをイメージすることができる。					
チームで働く力	発信力	時間内に作品を完成させるため、どのような手順が必要かを計画して、自分の作品のポイントを理解した上で、それを発表することができる。					
	傾聴力	課題の意図を理解するために、注視して説明を聞くことができる。					
	柔軟性	オリジナリティーを大切にしながらも、他者の作品の良さも認めることができる。					
	状況把握力						
	規律性	提出期限を守り、制作後の片付けを他者と協力しながら行うことができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：『保育をひらく造形表現』 榎 英子著 萌文書林 その他授業でプリントを配布 参考文献：保育所保育指針・幼稚園教育要領							
他科目との関連、資格との関連							
本科目は、「保育内容（表現）」を基礎として構成されている。 また、保育士と幼稚園教諭1種の資格に関連する科目である。							
学修上の助言				受講生とのルール			
身の回りのいろいろな平面表現に対して積極的に興味を持ち、造形の意義などについて関心を持つことが重要です。また授業で毎回配布されるプリントは、将来見直すことができるようファイルなどを用意して、一括して整理するようにしてください。失敗を怖がらないでください。むしろたくさん失敗して、そこから学んでください。				遅刻、無断欠席、授業開始後の無断入退室は禁止です。スマートフォンなどを画像参考として使用する場合は、必ず事前に許可を得るようにしてください。また、返却された作品やレポートは廃棄することなく、画像やファイルにまとめて保管し、今後に役立ててください。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	40	①	✓		(獲得) 幼児の線描, 立体の発達の理解に基づく知識 (30%) (活用) 造形表現の特性を活かした幼児への資質・能力育成の考察 (40%) (解決) 制作演習と考察による表現技術の習得の振り返り (30%)
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	50	①	✓		(獲得) 幼児の線描の発達の理解に基づく表現技術の知識 (30%) (活用) 制作演習による表現技術の習得 (40%) (解決) 幼児の造形表現活動の開発と発表 (30%)		
		②	✓				
		③	✓				
		④	✓				
		⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) 制作に対し、積極的に取り組める。 (働きかけ力) グループ制作の場合に、周囲と協働できる。 (実行力) 制作説明において、重要事項をメモすることができる。 (課題発見力) 制作においてわからないことは質問できる。 (計画力) 時間内に完成させるための時間配分計画ができる。 (創造力・柔軟性) オリジナリティーを發揮させた作品に仕上げることができる。 (発信力) 自分の意見のポイントをまとめたうえで発表できる。 (傾聴力) 作品課題の意図を正確に理解できる。 (状況把握力) 困っている人がいれば、その人の手助けができる。 (規律性) 提出期限を守り、制作後の道具の返却、教室の清掃ができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>①作品の意図を理解した上で、自分独自のアイデアを盛り込み、完成度の高い作品を作ることができる。</p> <p>②発表において、自分のアイデアを伝わりやすく述べるができる。</p> <p>③子どもの指導という観点を持って制作できる。</p> <p>※上記3点を十分に發揮した場合A(優)評価とし、それ以上に高い場合はS(秀)評価とする。</p>	<p>上段のA評価ほどの到達がないとしても、自分なりに精一杯頑張って制作し、発表することができた場合B(良)評価とする。発表はできたものの、誠意が感じられないものはC(可)評価とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	＜オリエンテーション＞ ・受講についてのルール説明 ・社会人基礎力のチェック ＜乳幼児の造形表現の特質＞① ・乳幼児の造形表現の特質について学修する。	講義 ディスカッション	受講ルールを理解できる。 乳幼児の造形表現の概要について理解できる。	(予習) 学泉ノートを熟読しておく。 (復習) 乳幼児の造形表現の特質について理解を深める。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	＜乳幼児の造形表現の特質＞② ＜乳幼児の造形表現の発達段階＞ ・乳幼児の造形表現の発達段階について学修する。	講義 レポートの作成	乳幼児の造形表現の発達について理解できている。 (レポートの提出)	(予習) 前回の学修内容を確認しておく (復習) 学修内容に照らした自身の指導の見通しについてレポートを作成する	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	＜色彩＞ ・色の性質や種類について学ぶ ・色料および光の三原色を理解し、混色をして色をつくる ・色相環の作成	講義 演習	色に関する基本的な理解ができている。 日常生活において色が及ぼす様々な影響が理解できている。 (課題の提出)	(予習) マンセルの表色系をよく見ておく。 (復習) 色相環を完成させ、次の授業で提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
4	＜モダンテクニック(フロッターージュ)＞ ・学内に落ちている葉や凹凸があるものを探し、こすり出しの技法を体験する。 フロッターージュについてインターネットで調べて効果的な方法を知る。	演習 フィールドワーク	身の周りの様々な凹凸のあるものを見つけ、多種類の作品ができている。	(予習) フロッターージュの手法を調べておく。 (復習) この作品は別の課題で使うのでしっかり管理する。 また、自宅にあるものなどで作品の数を増やしておく。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 柔軟性 規律性
5	＜描画材料の特質＞ ・クレヨン、クレパス等の描画材料の特質を学修する。 ＜描画材料の特質を活かした技法＞①(スクラッチ、パチック) ・スクラッチ、パチックの手法を学修し、体験する。	講義 演習 振り返りレポートのフィードバック	描画材料の特質を理解したうえでスクラッチ、パチックの基本的な手法を体験できた。 (振り返りレポートの提出)	(予習) スクラッチ、パチックの手法を調べておく。 (復習) レポートを作成しながら、保育への応用について考える。 この作品は別の課題で使うのでしっかり管理する。また、自宅にあるものなどで作品の数を増やしておく。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
6	＜描画材料の特質を活かした技法＞②(ドリッピング、ストリング、ローリング、マーブリング) ・ドリッピング、ストリング、ローリング、マーブリングの手法を学修し、体験する。	講義 演習 振り返りレポートのフィードバック	描画材料の特質を理解したうえで、ドリッピング、ストリング、ローリング、マーブリングの基本的な手法を体験できた。 (振り返りレポートの提出)	(予習) ドリッピング、ストリング、ローリング、マーブリングの手法を調べておく。 (復習) レポートを作成しながら、保育への応用について考える。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
7	＜コラージュ＞ ・これまでにできたモダンテクニック作品や写真、身近な材料を使いコラージュ作品を制作する。	演習 作品制作	自分の感性を十分に生かした非現実的世界が面白く表現できている。 (課題作品の提出)	(予習) インターネット等でコラージュ作品やシュルレアリスムの概念およびシュルレアリスムの画家の作品を調べておく。 (復習) 保育への応用について考える。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
8	＜モダンテクニック(デカルコマニー)＞ ・デカルコマニーからの展開方法を研究する。	演習 作品制作	デカルコマニーの基本的な手法が理解できている。 (振り返りレポート、課題作品の提出)	(予習) デカルコマニーの手法について調べておく。 (復習) レポートを作成しながら、保育への応用について考える。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	<平面構成とぬりえ> ・画面を直線や曲線で区切り、色面構成を行う。また、ぬりえに関する考察を行い、幼児の発達段階にそった資質・能力を開発するオリジナルぬりえを考案する。	演習 作品制作	平面構成・・・画面を直線や曲線で区切って色面構成を行い、作品を完成させる。 ぬりえ・・・ぬりえに関する考察を行い、幼児の資質・能力を開発するオリジナルぬりえを考案する。(課題作品の提出)	(予習) 平面構成と知育ぬりえについて調べる。 インターネットで調べてぬりえの種類を知る。 (復習) 市販の知育ぬりえを観察する。こどもの発達段階にそった興味を引くぬりえとは何かについて考える。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
10	<お面づくり①> ・ペーパーバックを使って鬼のお面をつくる。	講義 作品制作	適切な素材の選定や裁断、接着方法により作品が制作されている。	(予習) 神楽で使われる鬼や、秋田のなまはげ等の顔の表情を研究しておく。必要な材料の準備をする。 (復習) 本時の反省と次回の制作計画を確認する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
11	<お面づくり②> ・ペーパーバックを使って鬼のお面をつくる。	作品制作	適切な素材の選定や裁断、接着方法により作品が制作されている。 (課題作品の提出)	(予習) 完成に向けての見通しを持ち、作業内容の確認をする。 (復習) 本時の反省と保育への応用について考える。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
12	<指導案の作成①> ・描画活動に特化した内容の指導案を作成する。	講義 演習 グループワーク ワークシート(指導案)のフィードバック	指導案が作成方法に従って書けている。 (ワークシートの提出)	(予習) 指導案制作に向けて、活動内容等の見通しを持っておく。 (復習) ワークシート(指導案)を完成させる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
13	<指導案の作成②> ・つくる活動に特化した内容の指導案を作成する。	講義 演習 グループワーク ワークシート(指導案)のフィードバック	指導案が作成方法に従って書けている。 (ワークシートの提出)	(予習) 指導案制作に向けて、活動内容等の見通しを持っておく。 (復習) ワークシート(指導案)を完成させる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
14	<模擬保育①> ・描画活動に特化した内容	演習 グループワーク ディスカッション 振り返りレポートの作成	作成した指導案に従って模擬保育を遂行することができた。 (振り返りレポートの提出)	(予習) 模擬保育の構成や、使用材料・用具等の確認する。 (復習) 振り返りレポートを完成させる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
15	<模擬保育②> ・つくる活動に特化した内容	演習 グループワーク ディスカッション 振り返りレポートの作成	作成した指導案に従って模擬保育を遂行することができた。 (振り返りレポートの提出)	(予習) 模擬保育の構成や、使用材料・用具等の確認する。 (復習) 振り返りレポートを完成させる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力